

研究タイトル:

実践に基づく語りの情報デザイン —郷土愛の醸成に向けて—



氏名: 林 侑輝 / Yuki Hayashi E-mail: y-hayashi@yonago-k.ac.jp

職名: 助教 学位: 博士(学術)

所属学会・協会: 日本認知科学会, 人工知能学会, みんなのケア情報学会

キーワード: Narrative, 一人称研究, 身体性と身体知, 情報デザイン, 自然言語処理

技術相談
提供可能技術:
・発話・会話の転記とコーパス構築
・テキストマイニング等による定量的な分析または定性的な分析
・言語行為のマルチモーダルな分析

研究内容:

【基本的な研究関心】

広く「物語性のあるもの」に関心があります。人間は、単に物語作品を読み書きするという行為に留まらず、日常の体験(事実)を物語(ストーリー)として理解したり他者に伝えたりする性質を備えています。最近では製品・サービスの開発や販売においても注目されていますが、この「物語的思考」と呼ばれる仕組みの解明が究極的な研究目標です。

【現在の研究テーマ】

人の話し方、特にナレーション技術についてマルチモーダルに検討しています。ナレーションのプロであるアナウンサーや講談師の方々を対象にフィールドワークを行う一方、研究者である私自身もそれらを実践する事で認知や身体知の一人称的な記述に取り組んでいます。又、収録環境や台本を操作可能な変数と見做し、ナレーションの観点から最適な情報デザインについても検討しています。

本研究は、新人アナウンサーの養成等へ応用が見込まれます。又、地域のイベントや防災に関する情報がリスナーに伝わりやすくなれば、結果的に郷土愛の醸成にも繋がる事が期待されます。

林研の業績・活動は QR からご覧下さい。第1金曜にラジオもやってます。



担当科目

情報リテラシ(1年), デジタル回路 I(2年), 離散数学(3年), 情報システム実験実習 II(4年), 人工知能(5年), 卒業研究(5年) 他

近年の業績

(研究・教育論文、特許含む)

直近の研究発表:

- 林 侑輝: 認知症者をもつ家族の心のゆらぎ—回顧的語りへのアノテーションの研究一, みんなのケア情報学会 8 回年次大会, (2025)
- 林 侑輝: 原作ファンはなぜ怒るのか?—キャラクターを形づくることばに関する考察一, 第 3 回キャラクターのことば研究会, (2025)

指導学生の卒研と関連した最新の業績:

- 藤井 奏, 林 侑輝: 話者間の認知フレームに配慮した、コミュニケーション支援アプリの開発, 日本認知科学会第 42 回大会, (2025)

直近の共同研究:

- 米子高専と株式会社 DARA Z コミュニティ放送, ナレーション技術の解明に向けた一人称視点からの質的研究, 2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

アイトラッカー:
アイマークレコーダ EMR(ナックイメーজテクノロジー)

モーションキャプチャシステム:
MAC3D System(ナックイメージテクノロジー) 他